

  
シルバー **宇部**  
第 152 号

編集発行

公益社団法人  
宇部市シルバー  
人材センター

山口県宇部市琴芝町二丁目4番25号  
宇部市多世代ふれあいセンター5階  
TEL(代)31-3251  
<https://webc.sjc.ne.jp/ubesc/>

会員拡大運動中

今年度目標会員数1,280人

男性 853人 / 女性 355人 / 合計 1,208人 (R6.9.13現在)

安全は 無理せず 焦らず 油断せず



タイトル / 「乙女の愛情」 撮影者 / 琴芝地区 井上ヒロミ

### 今号のトピックス

- 会員のつどい ..... p.2  
私たちががんばっています！ vol.26 ..... p.3  
宇部市内地区の名所・旧跡を訪ねて〈恩田地区編〉 ..... p.4～5



# 合唱のつどい

8月3日（土）令和6年度「会員のつどい」が多世代ふれあいセンターで開催されました。会員の1割程度の約100名が参加し、西岐波地域の吉松美枝子様の司会で始まり、鈴木理事長の挨拶がありました。



午前の部は宇部市役所 佐藤太加夫様、藤村望美様による「こんな時役立つ介護保険」について宇部市提供の冊子を用いて講演がありました。次に宇部警察署 三藤

雅大様によって「最近の交通情勢について」を、プロジェクターの映像を併用しながら説明されました。特に、高齢者の事故割合が多いことで、夜間の歩行時は夜光反射材を着け、自分の存在を運転者に気づかせることが大切と力説されました。両演題共、会員の皆様にとって身近なタイトルで興味津々の様子で、有意義な安全大会になりました。



午後の演芸大会は井上理事による名司会で「長生き音頭」等の民謡7曲が発表されました。続いてカラオケ6曲も歌われ、特に「剣路の夜」の岩本文吉様、デュエット曲の「赤いグラス」の高市政



子様のプロ級の歌唱力には驚かさされ、盛大な拍手があげられました。トリは、理事長主導で会場全員による三・三・七の手拍子と、美人バックダンサーを従えた、チョット「エロチック」な山根総務課長の形態模写、西城秀樹もびっくり

の「ヤングマン」で盛り上がりました。



続いて、お楽しみ抽選会があり、理事長賞を含め、数々の豪華賞品が当選者に手渡されました。又、事務局職員が率先して、顧客接待、舞台小道具の準備、進行等をスムーズに行い、職員のチームワークの良さも感じられました。次回も、多くの会員の皆様が元気に参加され、「楽しいつどい」になることを願いたいと思います。  
(桜木一憲記)

私たちががんばっています！

vol.26  
キワ・ラ・ビーチ  
施設管理



今回は、岐波観光開発協会より委託を受けた東岐波のキワラビーチ管理を取材しました。  
キワラビーチは遠浅で波の穏やかな海水浴場で、晴れた日には、遠くの国東半島や姫島も眺望できます。昔は若宮海水浴場という名称で白砂青松の自然の美しい所でした。松林は整備により無くなっ  
てしまいましたが、その分、施設の充実が図られています。  
景観もすばらしく、地元の方が散歩コースとして利用するなど地域に根付いた場所になっています。

就業会員

中野廣志（東岐波）  
大野洋美（西岐波）

就業体制・就業日数

会員二人がローテーションで就業。平日は午前8時から17時。週末は18時までで、海開きから8月31日までの期間です。

就業内容

海のごみ拾い、シャワー室、貸し部屋、キャンプ、バーベキュー利用者管理、施設前のテーブル、椅子の準備・片付けになります。温水シャワーは自動式で集金など



はないのですが、時々お湯が出ないなどのトラブルの対応がありました。

また、ホームページなどで広く知られているため、週末やお盆には県内外からたくさんの方々が来場者がありました。

就業期間中の思い出

ビーチは干満の差が大きく干潮時には干潟で遊んだり、キャンプやBBQを楽しまれる若者や家族連れを見て、心が癒されました。

毎日、暑さとの闘いでしたが、熱中症になることもなく無事に就業を終えることができたこと。ま



た、一番懸念していた来場者の水難事故・けがなどもなくほっと胸をなでおろしています。

最後に一言

暑い暑い夏が終わりました。  
（山根貴典記）

# 宇部市内 地区の名所・ 旧跡を訪ねて

## 〈恩田地区編〉

地域の北側にある恩田運動公園内には、陸上競技場、野球場、体育館等があり、宇部市におけるスポーツの拠点となっています。令和7年3月31日のリニューアルに向け、美津濃グループで再整備を実施しています。

### 恩田スポーツ公園

(恩田町4-1-1)

恩田の野原地区には宇部市のスポーツ施設が集中している。陸上競技場は昭和15年(1940年)に作られた。その後昭和38年(1

963年)、第18回国民体育大会が開かれたときに本部席やメインスタンドが改築された。それまでは大きな体育行事は神原公園で行われていた。神原公園は昭和3年、昭和天皇の御大典記念としてできた公園で、競技場も兼ねていた。県の体育行事も公園で行われ昭和11年には県下中等学校の陸上競技大会も行われている。公園では野球も開催され、昭和5年高校野球の県大会、10年には県下実業団の選抜野球が行われ、24チームが参加した。時の流れに応じて野球場が欲しいという声が上がリ、16年に恩田に今の野球場ができた。戦後になってやっと体育振興の総合計画に基づいて近代的に改装された。野原のこの高台はお年寄りの方には「千把だきの地」として記憶に残っている、ということである。昭和8年、9年は梅雨期になっても雨が少なく、あまりにも雨が降らないので琴崎八幡宮で祈祷



を行い、市内の三か所で雨乞いの千把だきを行った。恩田のこの辺りは広々とした台地であつたため一番大掛かりな千把だきをしたそうである。稲わらを千把ほど焼き空を焦がすと雨が降る、と昔から言われていたのだつた。ここに市営プールができたのは昭和33年。飛び込みプールは37年に完成した。宇部市でプールが初めてできたのは昭和27年で常盤中学校に西日本では初めての25メートルの公認プールが完成、国体にも多くの選手を送り出した。俵田体育館は宇部興産の創立60周年記念として当時、1億8千万円の寄付を受けてできたもので34年に落成した。前庭の若人の像は産業記念像を作った山内壮夫の作品で俵田家の寄贈による彫刻である。今はリフォームされ各競技の公式戦が行われるほど



広い、市民に親しまれている体育館である。

### 恩田河内神社

(恩田町2丁目)

清水川バス停の南側に建立されているのが恩田河内神社という恩田の氏神様である。この辺りから西の方の平地は塩田、向塩田、大塩田という地名があり、昔は海がこの近くまで入り込んでいたらしい。

神社の東と南は一段と高くなっており、恩田山といわれていた。鳥居には慶応3年(1867年)



の年号が記されている。江戸時代末期に勧請されたものと思われる。河内神社の名は神内明神、河内明神ともいわれ、県内にはとても多く存在し、宇部の小野地区には十数か所もあったようだ。コメ作りの盛んなところには大抵祀つてある神である。河内神の由来は明らかではないが、古くから土俗的な信仰として祀り続けられた。祭神としては天水分命（あめのみくまりのみこと）が多くみられる。すなわち農業の神である。清水崎から流れる清水川は、その後、常盤の水と合流して近くを流れ、現在も塩田川の上流となっている。大正時代の地図を見ると、周辺の平地はすべて田ばかり、今の神原中学校もユニクロも神原耕地整理のあったところである。境内には長沢炭鉱が寄贈した狛犬、また立派な灯籠が一对ある。これは宇部興産の中安閑一元会長が生まれた時、父の周太郎が近くの下野庄七とそれぞれ長男が生まれたお礼にと話し合つて寄贈したものだそう。うだ。いわば誕生記念の灯籠である。恩田を見守る神社であり、梶返の天神様の祭りには御神幸が立ち寄る御旅所であった。



7月23日（火）13時30分より宇部市総合福祉会館にて、多肉植物を使った「夏の寄せ植え講習会」を開催した。  
講師は、県内外のフラワーコンテストで多くの賞を受賞され、現在当センターの会員でもある磯部光隆先生にお願いした。  
受講者16名に好みの植木鉢と多肉植物を選んでもらい講習会を開

女性委員会（遊楽里）出張講習会

始。  
鉢の中央に背の高い多肉植物を置き、それを囲うように色や形の違う三種類で三角形を作る。位置が決まったら、動かないようしっかりと土を入れ、隙間に数種類の小さな多肉植物を植え込む。自由に植え付けて良いのだが、これから成長することを想像するとなかなか位置が定まらない。置いたり、のけたり、悩みながらも楽しい時間である。  
植え付けが終わると、更に飾り付けが待っていた。見たこともないオレンジ色のソテツの実やブルーと透明の綺麗な月型のガラス、貝殻や小さな人形、おもちゃの車など、たくさんさんの飾りを先生が用意してくださっていた。  
シンプルに仕上げる人、可愛く飾る人など、個性が光るできあがりとなった。  
先生から「水のやりすぎに注意。土の表面に霧吹きで与える程度で十分。置き場は西陽の当たらない所で、屋内よりは屋外で育て



る方が良い」とのアドバイスがあった。  
最後に肥料と風船カズラの種のお土産をいただき講習会は終了した。

今回、私自身も受講生として参加し、すっかり多肉植物にはまってしまった。講習会から持ち帰った寄せ植えの鉢の他に、二個、三個と小さな鉢植えを増やしているが、先生の仰せ通り、霧吹きで与える水だけでたくましく育つており、毎日眺めては小さな変化を楽しんでいる。受講されたみなさんもきっと同じ気持ちで眺めておられるのでは？  
(中村真弓記)





# 会員の仕事を写真で紹介

センターでは、会員にふさわしい臨時的かつ短期的又はその他の軽易な仕事を、企業、家庭、公共団体から引き受け、これを会員の皆様に請負、委託により提供します。高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織です。仕事の種類としては多岐にわたりますが、今回は写真で紹介しましょう。  
(井上記)



除草作業(東部浄化センター)



草刈作業(あすとぴあ)



搬出作業(片倉公園)



駐車場管理

駐車場管理



洗車業務

洗車業務



庭木剪定

庭木剪定



学校給食配膳



高齢者福祉サービス(食事作り)



講師(園児書き方教室)



託児



家事援助(清掃)



マンション清掃



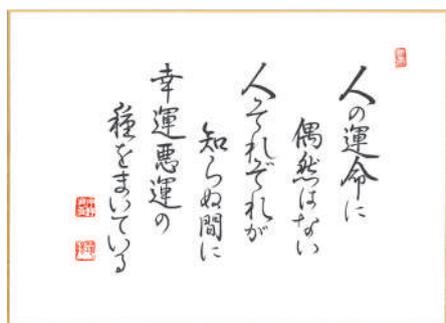
「彼岸花」  
西岐波地区 P・N サクランボ



「丸尾の魚市場」  
東岐波地区 杉山 明 美



「求愛」  
常盤地区 桶田 敏 治



岬地区 宇野 典 彦

色紙

# 会員情報交流のひろば

## 作品発表・交歓の頁

— お気軽に投稿下さい —



「大切な思い出」  
琴芝地区 井上 ヒロミ

川柳

琴芝地区 井上ヒロミ

ススキ見てわが人生秋想う  
最近はおのせに飛び立ち友が増え  
二階部屋 不要なものがガチ増える  
生きている わかんないけど生きている  
満員のエレベーターにそと乗り

西岐波地区 P・N サクランボ

いい話 儲かるのならご自分で  
断捨離を始めて気づく 俺も無駄  
パスワードどれがどれやら 忘れたね  
几帳面 こだわりすぎて まとまらず  
残された 大事な時間 だらだらと

北部地区 梶山 淳幸

医者通い 通院ポイント ありません  
パリ五輪 行って食べたの フランスパン  
昼寝して 生きてますよと 起きて言う



## ■事務局だより

事務局だよりは、大事なお知らせを掲載しております。必ず読みましょう。

### 研修旅行のご案内

11月1日(金)に研修旅行を開催いたします。  
詳細は別紙のご案内を確認いただき、お申し込みください。

### 会員手帳販売のお知らせ

購入希望者は10月31日(木)までに事務局へ電話(31-3251)で申し込みしてください。  
11月20日以降に引き渡しますので、代金(400円)をご持参の上、事務局へ取りに来てください。

### シルバー人材センター 情報配信サービス (Smile to Smile) 研修会のご案内

10月25日(金)にwebによる情報配信サービス(お知らせ・就業情報・配分金明細の確認・センターからの就業情報)に関する研修会を開催します。

就業されている会員はもとより地域役員の方にも重要な講習となりますので必ず受講してください。

詳細は別紙のご案内を確認いただき、受講して頂ければ幸いです。

## シルバー人材センター情報配信サービス

### 「Smile to Smile (スマイルトゥスマイル)」の登録をお願いします

10月中旬にwebサイト「Smile to Smile (スマイルトゥスマイル)」ログインID・パスワード通知書を全会員に送付させていただきます。同封のチラシを確認し登録をお願いします。

#### 登録手順

- ① パソコンやスマートフォンでSmile to Smile (スマイルトゥスマイル) と検索する
- ② ログイン画面で通知書に記載してある「ログインID」と「パスワード」を入力する
- ③ 利用規約の同意
- ④ 生年月日の入力
- ⑤ メールアドレスとパスワード設定  
※メールアドレスはチェック欄を押下すると省略できます。  
また、パスワードは自己管理をお願いします。
- ⑥ 入力内容の確認で登録完了



ご不明等、問合せは事務局までお願いします。 TEL 31-3251

## 編集後記

旧暦の10月は出雲の国(現在の島根県)に日本中の神さまが集まり、各地から神さまがいなくなるので「神無月」。逆に出雲の国では、神さまが集まるので「神在月」と呼ばれています。出雲大社に祀られているのはオオクニヌシ。神話では日本の国土を開拓したとされる神さまです。全国の神々が10月に雲に集まり、1年のことを話し合うといわれます。その話し合いで特に人々の結婚の組み合わせが決められることから、出雲大社は縁結びにご利益があるといわれています。各地から神さまを迎える出雲の各神社では旧暦10月(新暦11月)に神さまを迎える「神迎祭」、「神在祭」などが行われます。祭事の間、地元の人には神さまの会議を邪魔しないよう、静かに過ごさなければならぬため「御忌祭(おいみさい)」とも呼ばれています。

(井上ヒロミ記)